

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

第6回理科教育シンポジウム 科学系社会教育施設の活用を目指した 教育コンソーシアムの設立

日時: 平成30年2月10日(土)13:30~16:00
於: 愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

本コンソーシアムについて

科学系社会教育施設

- 愛媛県立総合科学博物館 (稲葉正和主任学芸員)
- 愛媛県立とべ動物園 (前田洋一 副園長・宮内敬介教育普及課長)
- 面河山岳博物館 (矢野真志学芸員)
- 愛媛大学ミュージアム (吉富博之准教授)

教育行政関係

- 愛媛県教育委員会 (加賀山芳明指導主事)
- 愛媛県総合教育センター (真鍋昌嗣指導主事・陶山紀宏指導主事)
- 松山市教育研修センター (猪石光久指導主事)

教育コンソーシアム

学校教育教育

- 愛媛大学教育学部附属小学校 (中野孝樹教諭・大塚祥雄教諭・坂本啓生教諭・金井慎吾教諭)
- 愛媛大学教育学部附属中学校 (島山尊厚教諭・岡本慎次教諭・沖野俊也教諭)
- 愛媛大学附属高等学校 (松本浩司教諭・松原邦明教諭)

教育研究者関係

- 愛媛大学教育学部理科教育講座 理科教育学 (隅田学教授 向平和准教授)
- 生物学 (中村依子准教授 佐野栄教授)
- 地学

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

本シンポジウムの流れ

- シンポジウムの趣旨説明 10分程度
愛媛大学教育学部 向 平和
- 各施設等での取り組み 各15分程度
 - 愛媛県総合科学博物館の取り組み 稲葉正和氏
 - 愛媛県立とべ動物園の取り組み 宮内敬介氏
 - 面河山岳博物館での取り組み 矢野真志氏
 - 愛大ミュージアムでの取り組み 吉富博之氏
 - 到津の森公園・JAZAの取り組み 外平友佳理氏
- 休憩 10分程度
- 総合討論 終了時間まで

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

今年度の活動

- 計3回の研修会 (5月20日・7月22日・8月23日)



→相互理解の深化と活用方法の共有

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

なぜ、社会教育施設の活用なのか？

- 学校教育では
学習指導要領において社会教育施設の活用を明記
→教科書においても様々な施設の活用について掲載
- 背景としては
生涯学習・社会教育の場として
教育を受ける権利として
 - UNESCO「学習権宣言」(1985)
 - 教育基本法(第3条・第12条)
 - ブダペスト会議(1999)「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」
 リカレント教育の場として


国際成人力調査(OECD PIAAC 2012)
 日本の30歳以上の成人の通学率1.60%
 (ランキング18か国中で最低、最高は8.27%フィンランド)

愛媛大学
EHI UNIVERSITY

今年度の活動

- ルーブリック評価表の作成→研修や教材の開発の指針として


大観点	小観点	初級	中級	上級
コラボ力	担当者連携	施設の代表連絡先のみ知っている。	教育担当もしくは学芸員と直接連絡することができる。	複数人の施設担当者で連絡でき、様々な用途で協力したことがある。
	情報収集力	施設のHPを開覧したことがある。	関連する書籍などの情報を収集している。	各施設の年報や研究紀要などの内容を把握している。
カリマナ力	施設理解	施設を見学したことがあり、各領域の目的を理解している。	バックヤードや資料保管庫の内容について理解している。	各施設の学芸員・飼育員の研究領域について理解している。
	カリキュラム	1教科1単元での活用方法を提案できる。	1教科で複数の単元での活用方法・アクティビティを提案できる。	複数教科を関連させた活用方法・アクティビティを提案できる。
アセス力	ワークシート	施設が開発したワークシートを活用できる。	施設が開発したワークシートを子どもの発達段階に合わせてアレンジできる。	学習目標と子どもの状態に合わせてオリジナルのワークシートを開発できる。
	アセスメント	診断的評価を実施し、子どもの現状把握を把握し、適した導入を提案できる。	診断的・形成的・総括的評価についてそれぞれ適した方法について理解している。	それぞれの段階で適した方法を提案でき、評価のデザインができる。




今年度の活動


- 教材開発および予備的实践
動物園を活用する教材

『ままごの卵から孵ってあひよの
がわってあひよ (にんきあひよ
にんきあひよ)』の制作の様子
(左)『ままごの卵から孵ってあひよ
がわってあひよ (にんきあひよ
にんきあひよ)』の制作の様子
(右)『ままごの卵から孵ってあひよ
がわってあひよ (にんきあひよ
にんきあひよ)』の制作の様子





- 未来の動物園をつくろう!
2月16日(金)愛媛大学教育学部附属中学校にて実践予定



謝辞

コンソーシアムの設立、研修会および本シンポジウムは

中谷医工計測技術振興財団 科学教育振興助成

による支援により実施運営ができております。
ここに記して感謝申し上げます。